2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 大口町商工会

事業名	主要振声 (非早・口か)	主要中体	主たる								事	業	評価										
争未石	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者		目 標①			目	標②		得られた効果				ABC	D評価	5		4	後の展開・改			
巡回·窓口相談指 ^{遠東} 巻	地域内事業者の大多数を占め、当町商工業の基盤営基 す小規模事業者の経営基 の安定強化に努める。 た、創業・経営革前への積 極的な支援を実施するした。	巡回指導 延指導件数456件 (非会員8件) 実企業数120企業 (非会員 7企業) 窓口指導 延指導件数581件 (非会員30件)		指標	巡回窓口指導		指標	課題解	₽決提案	.,,	企業の良き相談相手とし て企業の経営改善及びた 策普及の支援がをきた。 特に小規模事業者に対し ての巡回・窓口相談指導 に努めた。	総合	事業	実施	自己評価 A	調本事業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	小規模事業者の身 近な相談先として、きめ細やかに 一巡回相談・窓口相 談を行う。		
源事業 導事業	いて相談・指導を行う。	実企業数168企業(非会員19 企業) 創業指導 延指導件数4件 (非会員3件) 実企業数3企業 (非会員2 企業) 課題解決22件	小規模事業者	目標数値	560 実績 数値	1041	目標数値	20	実績数値	22		評価	日	側	目標達成度	査結果	必要性	-	実施方法①	実施方法② 現行どおり	-		
	小規模事業者を対象として 正しい記帳方法の指導と決 算・確定申告の指導を行	・指導対象者数(企業数) 60 人 ・指導延日数 444日		指標	記帳指導事	業所数	指標		<u> </u>		指導対象者の税務知識の 向上。記帳方法の適正化 による経理能力の向上と				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	新規開業者の多くは、記帳指導及び 税務知能能以外にも 複数のメリットを 求めている。これ らを付帯・サービス		
記帳継続指導	の自計化並びに計数管理に よる経営力の向上に結びつ ける。 年 税 月 記	・指導延回数 967回 源泉所得税納期特例者に対 する半期源泉指導 (7月) 年末調整指導(1月)、所得 税・消費税申告指導 (2~3 月) 記帳機械化及び記帳継続指 導対象者に対する記帳指導 会	小規模事業者	7日1宗	(達成度 101.7	%)	1日1示	(達成度	9/	%)	経営者の経営把握能力の 向上。	総合	, 業	実施	В	事業者:	事 業 者		下げる				
10 1X 4E 49. 16 47			∵小元(天尹禾乍	目標数値	59 実績 数値	60	目標数値		実績数値			評価		類 iの	目標達成度	結果の	必要性	=	実施方法①	実施方法②	としてアピール し、対象事業所数 を増やせるよう尽 力する。		
						致1世	致1世		奴旭		致1世	1	講習会の開催により今				Α		Α		現行どおり		会員ニーズが高い
	タ(株) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	集団 経営一般 0回 0名 ※コロナ禍のため 中山 個別 経営一般 4回 4名 労働 3回 3 2名 税務 7回 3 2名 合計 14回 6	※コロナ禍のため	※コロナ禍のため		指標	出席者数		指標				後、必要である知識を得ることができた。				自己評価		満足度	補足 新型コロ	目標①	目標②	芸員――人か高い 割に参加者が少な い。今後は、会員 企業の参加しやす
講習会			小規模事業者		(達成度 45.3	%)		(達成度	9⁄ I I	%)		総合評	B業	施	В	調査結	А	オウイル ス感染症 によりー	現行どおり		い曜日・時間帯に 開催する。会員に は、巡回時に声掛		
				目標 数値	150 実績 数値	68	目標 数値		実績 数値			価		D. 13		果への	必要性	部事業中止	実施方法①	実施方法②	けを強化し参加を 促す。		
	地域の小規模事業者におい て事業の規模の拡大や継続	講習会(事業承継を見据えたライフプラン設計講座~			出席者丿	人数					講師より資料をもとに講 義を受け、今後避けては				C 自己評価		A 満足度	補足	現行どおり 目標①	目標②	来年度も引続き講習会を継続し、一		
	的な事業展開を図るために 必要な販路拡大について学 び、また地域のリーダーと	今始めなきゃ間に合わな い!?) 1回1 3人 青年部		指標	(達成度 81.3 %)		指標	(達成度 %)		%)	通れない事業承継につい て研修を行い、これから の事業運営を行っていく	総	事	実	В	調事	A	11074	現行どおり		人でも多くの方が 参加しやすい内容 とする。		
若手後継者等育成 事業	しての自覚と意識の高揚を 図るための活動を行う。	全国大会 ※コロナ禍の ため中止	若手経営者・ 後継者	日標			D 4#				上で役立つ研修であった。 た。	合評価		施側	目標達成度	査結果	必要性	=	実施方法①	実施方法②	-		
				数値	16 実績 数値	13	目標 数値	数值	実績 数値					F	В		А	=	現行どおり				
	各種のお祭り・祭典などを 開催することにより、その 集客力を活かして地域の経 済活動を促進し、地域の総 合的な振展。図ることを目 的とする。	コロナ禍のため中止		+ 上 + 市	延来場者数 指標 (達成度 - %)		+15.178	指標 (達成度 %)			コロナ禍のため中止				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	次回で46回目の開 催となり、住民等 に楽しまれる祭り		
祭典事業			地域事業所の 事業主・従業	扫標			拍標			%)		総合	業	実施	_	調査:	İ	新型コロ ナウイル ス感染症	現行どおり		であり、町外から の参加もあり、町 内高業にも良い効		
ホ 犬ぞ木			員、地域住民	目標	4,000 実績	_	目標		実績			台評 価		類 iの	目標達成度	結果の	必要性	による中 止のため 評価なし	実施方法①	実施方法②	早があると思われ、多くの参加を お、多くの参加を 得たい。		
				数值	数值		数値		数値						-		-		現行どおり				

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 大口町商工会

事業名	車業振声 (非晃 . P.ぬ\	事業中体	主たる									- 事	業	評価											
争未石	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者		目	票①		目 標②				得られた効果	ABC					ī		今後の展開・改					
地域産業活性ル車	地域経済の振興を目的とし ・ 藤野田 正年川桜」 ・ 田した地を山道の神平成20年 ・ 田 から販売上川路である。 ・ 田 市 田 市 田 市 田 市 田 市 田 市 田 市 田 市 田 市 田	大口酒浪漫(酒粕ブッセ) 桜ロサブレ、さくらあら れ、さくらジェラート年間 売上 577、454円/1店舗及 びまるっとあいち出店。		指標	売 (達成度	上金額	:	指標	(達成度		%)	お酒の売上げについて は、販売を存 原売を存 原で作り、 でかり、 でかり、 でかり、 でかり、 でかり、 でかり、 でかり、 でか	総合	华	実施	自己評価 A	調本事業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	今後は、桜おみなを らずき変では、桜のみれる ででいい。 でいい、サインに、 でいい、 であられない。 であられない。 であられない。 であられない。 である。 である。 である。 である。 でいる。 である。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい			
業	した商品の開発を通して、 セット商品として商品版 売、通信販売を増加てで 域経済活性化並びに「さく らの町大口町」をPRして		小規模事業者	目標数値	350, 000	実績 数値 577		目標数値		実績 数値		る。といっかれります ラートについてもりますつりの景品に出し、少高 りの景品に出り、少高め の町内での認知度を高め ている。	評価	A P	側の	目標達成度	登結果 者への	必要性	-	実施方法①	実施方法②	中。			
	いく。 地域商工業の発展に有益な 情報を収集・取得及び提供	商工会ホームページの運営 管理、及び新ページの追加			事業所情幸	股掲載事業	き者数					地域商工業者の情報化の 進展及び、地域特産物等				A 自己評価		A 満足度	補足	現行どおり 目標①	目標②	HPのリニューア ル後、各ページの			
情報化推進事業	を行い、商工業の活性化に 寄与する。	等。年に2度発行する「広報 等。年に2度発行する「広報 おおぐち」の編集・発行を 行い、事者の紹介や情報 の提供等を行った。 47 事業所掲載	等。年に2度発行する「広報 おおぐち」の編集・発行を 行い、事業者の紹介や情報 の提供等を行った。 47	等。年に2度発行する「広報 おおぐち」の編集・発行を 行い、事業者の紹介や情報 の提供等を行った。 47	等。年に2度発行する「広報 おおぐち」の編集・発行を テい、事業者の紹介や情報 D提供等を行った。 47	地域商工業者	指標	(達成度			指標	(達成度 %)		%)	の情報発信により企業の 発展に寄与した。	総合	事業	実施	В	調査事業者	A	11074	現行どおり	1 1/4/8/	情報追加やイン ターフェースの見 直しを行った。今 後はこれらの機能
11年報化推進事業					心外向上未有	目標 数値		実績 数値		目標 数値		実績 数値			評価		i側 iの	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②	を活かし、事業者 の方々へ分かりや すい情報発信を 行っていく。	
																Α		Α		現行どおり					
	プレミアム商品券発昇事業、地区別懇談会、異事等 業、地区別懇談会、異事等 交流会、企業交流会の場等 を提供し、各企業の経営創 化、ビジネス新工業の創 出を図りることを目的とす る。	プレミアム商品券参加店 1 38店 地区別懇談会45事業所の参 加調交歓会 コロナ禍のた め中止	38店	3.8店	38店	38店		指標	参加	参加事業者数		指標			地区別懇談会等の場を通じてビジネスチャンスの 創造につながった。				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	令和3年度は、地 区別懇談会ではな く、会員懇談会を
経営強化事業			小規模事業者		(達成度	戊度 91.5 %)		(達成		找度 %)			総合評	, 業	実施	В	調査結る	Α	-	現行どおり		開催する予定のため目標は現状維持とする。			
				目標 数値	200 実績 数値 183		目標 数値		実績 数値			価			目標達成度	型への	必要性	_	実施方法①	実施方法②					
																В		А		現行どおり					
	創業を考えている予定者、 事業主・従業員の能力開 発え、地域の製造事業の形を与	創業経営塾参加者 0名 ※コロナ禍のため中止 優良従業員の表彰事業 従		指標	参加者数		:	指標	参加企業		ŧ	従業員の能力開発、従業員の勤務への貢献に対しての表彰、ものづせりに				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	事業の予定は、昨 年度同様とする。 PR方法の工夫を			
雇用促進事業	える優良な技術者の確保を 目的として、創業経営塾を 始めとする各種事業を行 う。	業員 14名 大ロキッズものづくり講座 コロナ禍のため中止 就職フェア コロナ禍のた	創業予定者 小規模事業者	711 134			ľ			達成度 - %)		対してのPR、創業予定 者に対してのPR、経営 知識の取得補助につな がった。	総合評	_ 業	実施	В	事 事業者	Α	新型コロ ナウイル ス感染症 によりー	現行どおり	現行どおり	し、多くの人に周知する。経営塾は 知する。経営塾は 岩倉市、扶桑町商工会、江南商工会			
		め中止	その従業員 町内小学生	目標数値		実績数値		目標 数値		実績 数値	=	<i>3</i> 3/20	価			目標達成度	和果の		部事業中止	実施方法①	実施方法②	工芸、江南岡工芸 議所、愛知銀行大 口支店も協力す る。			
				×112		X III		× 112		X III						-		Α		現行どおり	現行どおり				
	青年部・女性部員間での交 流や社会福祉を通じて地域 の関わりを持つことにより 地域社会の発展に寄与する ことを目的とする。	事業の開催回数 青年部 20回 137人 女性部 12回 96人		指標	事業出席者数			指標			青年部・女性部員間での 交流や社会福祉を通じて 地域の関わりを持つこと				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	青年部・女性部事 業は回数・出席人 数とも現行通りと				
青年部・女性部事			青年部員	1日1宗	(達成度	64.7 %)		1日1示			%)	により地域社会の発展に 寄与することができた。 また次期経営者として経	総合	」 業	実施	В	調業	Α	新型コロ ナウイル ス感染症	現行どおり		して今後とも出席 者の数で効果を見 ていく。			
業			女性部員	目標		実績		目標		実績		営者の妻として、従業員 として事業経営の知識を 深めることができた。	評	計	類 iの	目標達成度	結果の	必要性	により一 部事業中 止	実施方法①	実施方法②				
				数値		数值 "	-	数値		数値						С		Α		現行どおり					

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 大口町商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる								事	業	評価										
争未石	,		対象者		目標(D		目	標②		得られた効果				ABC	D評価	5		4	後の展開・改			
部会・委員会事業	小規模企業振興委員会活動 等を行い、参加企業及び地 域商工業者の発展に資する ことを目的とする。	組織強化委員会 コロナ禍 のため中止 事業推進委員会 2回 11 人 小規模企業振興委員会 1回 9人	各委員会等所	指標	参加:		指標	(達成度		%)	各種委員活動等を通じ、 地域の商工業者の細やか な情報収集及と、国県町等活 の施策等り一層のことがの あことができた。	総合	**	自 実施	己評価 B	調査事業を	満足度 A	補足 新型コロナウイルス感染症	目標① 現行どおり	目標②	9名の小規模企業 振興委員をおける し、地族で普及に 集功頂にで普及に 大りでいて 大りでいる 大りでは 大りでは 大りでいる 大りでは 大りでは 大りでは 大りでする たりでする 大りでする たりで たりで たりで たりで たりで たりで たりで たりで たりで たりで		
部会・委員会事業			属事業者	目標数値		実績 数値 20	目標数値		実績数値			評価	B 評価		標達成度 C	結果の	必要性	により一部事業中止	実施方法①	実施方法②	会等を設置して活動を行っていく。		
	小規模企業等の事業主・専 従者・従業員の福利厚生の 充実や健康維持を図ること	健康診断 244人 ハイキング事業参加者数 コロナ禍のため中止 各種共済事業 加入者 523 名・御園座観劇 参加者 29 名・伏見稲荷参拝 コロナ禍 のため中止		4F 1W	参加:	者数	At- 138		小規模企業等の事業主・ 専従者・従業員の福利厚 生の充実や健康維持を図			自	己評価		満足度	補足	目標①	目標②	小規模企業等の事 業主・従業員等の 福利厚生の充実健				
福利厚生事業	により、事業所の健全な経営の継続と、円滑な運営に資することを目的とする。		種共済事業 加入者 523	各種共済事業 加入者 523 名 御園座組劇 参加者 29 会員1	会員企業の事 業主・専従	指標	1 (達成度 71.8 %)		指標	指標 (達成度 %)		ることにより、事業所の 健全な経営の継続と、円 滑な運営に資することが できた。		事業	施	В	調査結	Α	新型コロ ナウイル ス感染症 によりー	現行どおり		康維持を図ること により、事業所の 健全な経営の維持 と、円滑な運営に	
			者・従業員	目標 数値	380 実	績 273	目標数値		実績 数値	績値	CC12.	価		D	標達成度	型への	2 / 12	部事業中止	実施方法①	実施方法②	資することができ た。		
															С		Α		現行どおり				
	事業主等の委託を受けて、 事業主に代わって労働係保険保 特の申告納付そのの届と等等 時に関する各種の届こと 事務手続き事主の・ り、中か軽減し、労働保 の適用促進復及を図 の適正な徴収 目的とする。	保険 新手続きや労働保険各種届 出を適正に行った。 のこと ひ理 民険 食料	新手続きや労働保険各種届	新手続きや労働保険各種届	新手続きや労働保険各種届		指標	委託事業所数			+12-12面		各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理の負担を	Ē		自	己評価		満足度	補足	目標①	目標②	従業員が不在となるため労働保険を 廃止する事業所が
労働保険事業			労働保険適用 対象の中小企		(達成度 111	.1 %)	7	(達成度		%)	軽減し、労働保険の適用 促進及び労働保険料の適 正な徴収を図ることがで き、また従業員の社会保	総合評	事 A 評	施	Α	調査 書業者	Α		上げる		複数ある見込みだが、実績としては 目標数値を上回っ ているため目標を		
			業	目標 数値	45 実		目標数値		実績 数値		障の整備にもつながり、 労使双方に資することが できた。	価		D	標達成度	果の	必要性		実施方法①	実施方法②	引き上げる。		
															Α		Α		現行どおり				
	青色串告集会・法人会事業等の税務支援・出たの活動をサポートとにより、	专員会、交流会 7回 111 人 小牧税務署管内青色申告会 大口連絡協議会 大互連条公議会6回43人	地域商工業者	指標	出席者人数		指標	指標(達成度			国、地方公共団体、地域 社会への貢献や発展に寄 与することにより地域の			自	己評価		満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり実施 し、今後とも会の 活動をより一層活		
税務関係団体指導 事業					(達成度 59.2 %)	101%	%)			商工業の発展につながった。	総合評	事業 解	施	B 調査	調査 基業者	А	新型コロ ナウイル ス感染症 によりー	現行どおり		発なものにするべく協力していく。			
尹木				目標 数値	実績 数値 15		目標数値		実績 数値			価		D	標達成度	型への	必要性		実施方法①	実施方法②			
						-									С		Α		現行どおり				
		重営に協 国・地 社会への となり、 舌性化に		指標	出席者	š人数	指標		1 1		国、地方公共団体、地域 社会への貢献や発展に寄 与することにより、地域			自	己評価		満足度	補足	目標①	目標②	国や町からの情報 等もいち早く企業 の皆様に伝え、今		
江水田下寸11寸 子			地域商工業者		(達成度 32.7 %)		1日1示	(達成度 %)		%)	の商工業の発展につな がった。		事業	施	B i	調査は	Α	新型コロ ナウイル ス感染症	現行どおり		後ともクラブの活 動をより一層活発 なものにするべく 協力していく。		
業	資することを目的とする。 			目標数値	110 実	績 36	目標数値		実績 数値			評価	· 三十		雲達成度	結果の	必要性	により一 部事業中 止	実施方法①	実施方法②	- C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		
				 双 II 色	30.		処間		纵胆						D		A		現行どおり				

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。